

■佐藤千夜子 歌手。中山晋平に発掘されてラジオ歌手1号となり一世を風靡するも不遇の晩年。古賀政男を発見の功。
 さとうちやこ
 八幡製鉄始・1897＝ 山形県天童で、生糸問屋主人佐藤吉三郎と(父の妻が病弱で子どもを産めなかったため)従業員女性ちかの間に生まれる。本名千代。
 幼時より、クリスチャンだった母ちかに連れられてメソジスト系の天童教会に通い、伝道師ミス・キルバンから讃美歌と英語を学ぶうち、洋楽の素養が身に付き、
 日比谷公園・1903＝ 6歳：天童尋常小学校に入学。
 日露戦争終・1905＝ 8歳：
 満鉄発足・・・1906＝ 9歳：
 韓国併合・・・1910＝13歳：高等科2年の時、受洗、
 大逆事件判決1911＝14歳：卒業すると、上京し、メソジスト系の浅草教会牧師を保証人に、普連土女学校に入学するも、
 明治天皇没・1912＝15歳：
 大正政変・・・1913＝16歳：聖歌以外認めない学校になじめず、牧師を説得して、青山女学院高等普通科本科三年に編入。合唱クラブに入り、学校が開く音楽鑑賞会を楽しむうち、ステージに憧れるようになり、
 21ヶ条要求・1915＝18歳：
 民本主義・・・1916＝19歳：卒業。東京音楽学校進学を希望するも、実家に反対され、
 ロシア革命・1917＝20歳：四谷のパブテスト女子学寮に入る。娯楽禁止のなか、同室になった吉屋信子と抜出し、映画や芝居見物、本格政党内閣1918＝21歳：窮屈さに耐えられず、寮を出、山田源一郎が創設した女子音楽学校の聴講生となり、ハンカ・ペツォールドやA・サルコリーに師事して声楽を学ぶ。上達は早く、
 大暴落・・・1920＝23歳：念願の東京音楽学校声楽科に入学するが、オペラ軽視の風潮になじめず、
 原敬首相暗殺1921＝24歳：天童教会と結びつきあったメソジスト系の中央会堂の聖歌隊に入る。ここで、中山晋平に見いだされ、その作品を歌いだす頃には、東京音楽学校を中退。これが後の音楽人生の致命傷となる。
 関東大震災・1923＝26歳：中山晋平、野口雨情と佐渡演奏旅行、*帝国ホテルでの中山晋平作品発表会、いずれも絶賛される。
 護憲三派圧勝1924＝27歳：山丸組製糸場に委嘱されて野口作詞で中山が作曲した「須坂小唄」の発表会に出演。新民謡の嚆矢となる。
 治安維持法・1925＝28歳：初のレコード「青い薄」。新聞社に招聘され、中山、野口と渡鮮、中山の新民謡・童謡を独唱し好評。
 円本時代始・1926＝29歳：開始されたラジオ放送に出演、ラジオ歌手第1号となるが、途中休憩の箇所が打合わせと違ったことから激怒、自らのイメージを悪くしてしまう。佐藤千夜子の芸名を用い始め、
 金融恐慌・・・1927＝30歳：以後、新民謡と童謡普及のため、中山、野口と各地を訪れて好評。設立され日本ビクターに晋平と入社、
 共産党事件・1928＝31歳：再びラジオ放送で中山作品を独唱、全国に普及させる。レコード「波浮の港」が大ヒット。続く「旅人の唄」も好評。明治大学記念講堂落成に演奏会を企画していたマンドリン倶楽部の古賀正男(古賀政男)から、明大創立者の一人が天童出身だった縁で、招待され、その才能やマンドリンオーケストラの魅力を発見。
 世界恐慌・・・1929＝32歳：*「駒と殿様」ほか6枚一挙発売。菊池寛原作の映画主題歌「東京行進曲」は発売とともに、25万枚の大ヒット、流行歌手第1号となり、人気絶頂、次々と流行歌レコードを出して、歌謡界の女王として君臨するが、
 海軍軍縮条約1930＝33歳：藤原義江の渡欧聞くと、オペラのプリマドンナを夢見て、日本の大衆音楽に大変革もたらした古賀作品「影を慕いて」を吹込むと(翌年発売)、日本を離れ、経由地アメリカで移民日本人に大歓迎され、富豪の柔道家太田節三と知合って同棲するなどした後、
 満州事変・・・1931＝34歳：この年、自らが才能を見出した古賀正男は“古賀政男”となり、コロムビアへ入社。念願のイタリアへ渡り、ロジーナ・ストルキオについて声楽のレッスンを受ける。同地で、中山晋平の作品を独唱し、好評。
 五一五事件・1932＝35歳：藤山一郎歌う「影を慕いて」が一世を風靡。前年の「酒は涙か溜息か」「丘を越えて」と合わせ、歌謡界は“古賀メロディー”一色。ミラノ・グラモフォン管弦楽団演奏で吹込んだ「カチューシャの唄」「船頭小唄」発売。
 国際連盟脱退1933＝36歳：この間、イタリアではオペラは高尚なものではない上、歌唱力だけでは主役になれないと知って、挫折、
 帝人疑獄事件1934＝37歳：*ミラノ・スカラ座管弦楽団演奏で吹込んだ「ゴンドラの唄」「さすらいの唄」新譜発売後、放蕩生活で無一文になって帰国。ビクター提供のモダンな“銀座アパート”に住むが、日本の歌謡界は全く変貌しており、復帰もままならず、声楽家として音楽活動に入る。
 芥川直木賞始1935＝38歳：恩人中山晋平の「作曲生活二十年記念音楽会」に出演して、「母恋し」を歌い、
 二二六事件・1936＝39歳：声楽の師A・サルコリーが死去、追悼演奏会に、三浦環、関屋敏子らと出演。故郷天童独唱会を開催。放送オペラ「ラ・ジョコンダ」に主役で出演。
 日中戦争始・1937＝40歳：大阪ほかで独唱会を開催。「母恋し」が国民歌謡で放送される。ビクターの完全日本会社化とともに、専属契約を解除され、レコード吹込み途絶えて、“銀座アパート”も追い出される。
 第二次大戦始1939＝42歳：{日伊親善イタリア音楽の夕}に三浦環らと出演し、イタリア民謡を独唱。
 日米開戦・・・1941＝44歳：
 近代の超克・1942＝45歳：
 創価学会検挙1943＝46歳：演芸慰問団の一員として南方戦地を回る。途中輸送船が米軍の攻撃を受け、九死に一生。
 敗戦・・・1945＝48歳：空襲に遭い、山形県天童町に疎開し、玉音放送を聴く。
 新憲法施行・1947＝50歳：突然茂原観光協会から依頼があり、出向いて「藻原音頭」を歌い、歓迎される。
 極東裁判決・1948＝51歳：天童舞鶴公園で催された桜祭りに出演。
 独立回復・・・1951＝54歳：オペラ歌手平間文寿主宰の(音和会)に参加し、*音楽教室を開くが失敗。演奏活動をやめ、
 メテオ-事件・1952＝55歳：恩人中山晋平が死去。
 TV放送始・・・1953＝56歳：洋品店がかつて自分の着ていたオーバーを見つけ、袖を通して思いに耽っているうち、万引事件となってしまい、新聞にも報道されて、楽壇への復帰の道は完全に断たれ、
 安保闘争・・・1960＝63歳：
 弟の家で、弟の援助や、生活保護を受けながら晩年を過ごし、
 巷では既に他界したことになっていたが、
 いざなぎ景気1966＝68歳：千夜子に恩義を感じる一方で千夜子の存在が厄介なものとなってしまった古賀政男が密かに来訪、
 美濃部都知事1967＝69歳：病身のところを、朝日新聞の取材に応じ、
 霞ヶ関ビル・1968＝70歳：ひっそりと、没した。